

「介護実習」学習指導案

- 1 実施日時 令和3年11月22日(月)第3・4限目
- 2 学 級 2年F組(39名)使用教室 会議室
- 3 指 導 者 大阪市立淀商業高等学校 福祉ボランティア科 教諭2名
(※ファシリテーター 大阪市老人福祉施設連盟 介護の魅力伝え隊6名)
- 4 題 材 名 認知症高齢者とその家族の気持ちに寄り添った介護とは

5 題材目標

- (1) 介護老人福祉施設と介護老人保健施設におけるサービス内容や利用者像を理解するとともに、介護福祉士として求められる基本姿勢と倫理について理解する。
- (2) 認知機能障がいによる日常生活への影響に関する課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとった介護及び支援の方法について倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて表現するなどして、創造的に解決する力を身に付ける。
- (3) 認知症高齢者一人ひとりに応じたよりよい介護及び支援方法の実現に向けて、利用者やその家族の視点から主体的かつ協働的に取り組んだり、振り返って改善したりして、介護及び支援方法について創造し、実践しようとする。

6 題材観

学習指導要領の介護実習の項目にある「多様な介護の場における実習多様な介護現場」の中から介護老人福祉施設と介護老人保健施設をとりあげ、施設の概要や生活支援目標、施設における介護福祉士の仕事内容や役割について具体性を持たせた学びに繋げたい。また、自らの気持ちを伝えることが難しい認知症高齢者の施設での生活を支援する方法について考察することで、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添った介護の基本姿勢と倫理について身につけることができると考える。

7 生徒観

本学科2年生は、1・2学期を通じ介護職員初任者研修を行い、入浴・食事・排泄などの基本的な介護技術の学習を終えている。例年ならば、1年次で通所施設での実習12日間、2年生でグループホームでの実習6日間、入所施設での実習9日間を終えている学習状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症予防対策により高齢者施設での実習は実施できていない。生徒の中には介護現場での実習経験がないため、介護福祉士として必要な専門的知識や技術が身に付いているか不安になっている生徒がいる。日々の学習の様子は、将来の自らの目標に向けて真面目に取り組む生徒が多く、高齢者施設とリモートで繋いだレクリエーションに向けてグループごとに対話的な活動を行うことにより、少しずつではあるが主体性や協働力が身に付き始めている。

8 指導観

介護現場での実習ができない状況の中、介護現場での学びに少しでも近づけるために、視聴覚教材の活用や施設見学会を通じて、介護における仕事の本質や魅力を伝えたい。さらに、認知症高齢者の思いを汲みとった介護及び支援の方法について、生徒だけではなく介護現場で従事されている介護福祉士にファシリテーターとしてグループ活動に参加してもらうことで、倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいた思考を促進し、対話的で実践的な学びを設定する。

9 題材の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・介護老人福祉施設と介護老人保健施設におけるサービス内容や利用者像を理解している。</p> <p>・介護福祉士として求められる基本姿勢と倫理について理解している。</p>	<p>・認知機能障がいによる日常生活への影響に関する課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとった介護及び支援の方法について倫理観を踏まえて表現するなどして、創造的に解決する力を身に付けている。</p>	<p>・認知症高齢者一人ひとりに応じたよりよい介護及び支援方法の実現に向けて、利用者本位の立場から主体的かつ協働的に取り組んだり、振り返って改善したりして、介護及び支援方法を創造し、実践しようとしている。</p>

10 指導と評価の計画(9時間)

- 【1】 介護の仕事で大切なことは 2時間
- 【2】 施設見学会～入所施設について～ 3時間
- 【3】 ケアニンと考える利用者の方にとってよりよい介護とは (本時 2/4時間) 4時間

過程	時間	ねらい・学習活動	評価基準・評価方法
介護の仕事で大切なことは	1	【鑑賞:ケアニン～あなたでよかった～】	
	2	<p>○新人介護福祉士の成長する姿を通じて、介護福祉士として必要な基本姿勢と職業倫理について表現することができる。</p> <p>○認知症高齢者の日常生活への影響について考え、利用者が望む暮らしを支援するための関わり方について考察する。</p> <p>○新人介護福祉士と利用者との関わる姿から、利用者家族の気持ちの変化について考察する。</p>	<p>★【知①】介護福祉士として必要な基本姿勢と職業倫理について表現することができる。</p> <p>・ワークシート</p> <p>★【態①】介護福祉士として働くにあたり利用者との関わりで大切なことを、主体的に取り入れようとしている。</p> <p>・ワークシート・行動観察</p> <p>★【思②】施設で楽しそうに過ごす認知症高齢者を見た家族の気持ちの変化について、考察することができる。</p> <p>・ワークシート</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 認知症高齢者とその家族の気持ちに寄り添った介護とは、どのような関わり方や介護を心掛ければよいのだろうか </div>			
施設見学会 入所施設について	3	【見学:介護老人福祉施設又は介護老人保健施設】	
	4	<p>○高齢者入所施設の理念や概要、生活支援目標について理解している。</p> <p>○高齢者入所施設での介護福祉士の役割について理解している。</p> <p>・介護従事者としてふさわしい身だしなみ、言葉遣いなどのマナーを身に付けている。</p> <p>・介護福祉士の仕事について興味関心を持ち、多角的な視点から質問することができる。</p> <p>○介護の専門職として認知症高齢者との関わり方や介護方法について学ぶ。</p> <p>・認知症高齢者とのコミュニケーションの基本について理解している。</p>	<p>★【知②】高齢者入所施設の理念や概要、生活支援目標について理解している。</p> <p>・実習施設見学シート</p> <p>★【知③】介護従事者としてふさわしい身だしなみ、言葉遣いなどのマナーを身に付けている。</p> <p>・教員による身だしなみチェック表</p> <p>・実習施設指導者による評価</p> <p>★【態②】介護福祉士の仕事について興味関心を持ち、主体的に質問することができる。</p> <p>・実習指導者による評価</p> <p>★【知④】認知症高齢者とのコミュニケーションの基本について理解している。</p> <p>・ワークシート・行動観察</p> <p>・実習指導者による評価</p>

	5	<p>【振り返り:介護老人福祉施設と介護老人保健施設の理解を深める】</p> <p>○介護老人福祉施設と介護老人保健施設の違いや共通点について考えを発表しあう。</p> <div data-bbox="320 302 906 398" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容や利用者像について ・施設の概要や生活支援目標、理念についてなど </div> <p>○実習施設見学会の際に、実習指導者から学んだ専門的な知識や心構え等について、グループ活動を通じて学びを共有するとともに理解を深める。</p> <div data-bbox="320 548 906 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士の役割について ・認知症高齢者に対するコミュニケーションの基本 など </div>	<p>★【思③】介護老人福祉施設と介護老人保健施設の違いや共通点についてグループ内で発表することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・相互評価 ・行動観察 <p>★【態③】進んで、自らが見学先の実習指導者から学んだ専門的知識などを伝えるとともに、他のメンバーが発表する内容を主体的に理解し、身に付けようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・相互評価 ・行動観察
ケアニンと考える利用者の方にとってよりよい介護とは	67	<p>【鑑賞:ケアニン2～心に咲く花～】</p> <p>○大規模施設で従事する際の留意点、利用者のケアを支える多職種連携について理解する。</p> <p>○認知症高齢者の日常生活への影響について考え、利用者が望む暮らしを支援するための関わり方について考察する。</p> <p>○利用者家族にとって、介護福祉士の役割や存在について考察する。</p>	<p>★【知⑤】大規模施設における利用者主体の個別ケアや多職種連携について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>★【態④】介護福祉士として働くにあたり利用者との関わりで大切なことを、主体的に取り入れようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 <p>★【思④】利用者家族の気持ちになって、介護福祉士の役割や存在を考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
	89 (本時)	<p>【ケアニンと考える利用者の方にとってよりよい介護とは】</p> <p>○認知機能障がいによる日常生活への影響に関する課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとったよりよい介護や支援の方法について考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄介助や帰宅願望の事例を活用して、ロールプレイング等を行い、問題点を挙げて課題を設定する。 ・利用者本位の立場から、よりよい介護や支援の方法についてグループで話し合い、考えをまとめて発表を行う。 <p>○大福が大好きなポンちゃんの事例を活用して、『利用者が望む暮らし』を実現していくために、介護現場だからできることを理解する。</p> <div data-bbox="336 1749 842 1845" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士の役割 ・多職種協働(チームケア)について </div>	<p>★【思⑤】認知症高齢者の排泄介助や帰宅願望の事例から課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとったより良い介護について、考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・相互評価 <p>★【態⑤】進んで、認知症高齢者の思いを汲みとったより良い介護について主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 <p>★【知⑤】介護福祉士の役割や多職種連携について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 <p>★【態度⑥】家庭学習として、本日の学びについてワークシートに記入し、自らの学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

11 本時の学習

(1) 小題材名 ケアニンと考える利用者の方にとってよりよい介護とは

(2) 本時のねらい

認知機能障がいによる日常生活への影響に関する課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとったよりよい介護や支援の方法について考え、工夫することができる。

(3) 学習活動と評価

過程 (時間)	学習活動	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入Ⅰ 5分	1 本時の学習内容を確認する。 ①挨拶および講師紹介 ②前時までの学習内容を振り返る。 認知症高齢者の気持ちに寄り添った介護とは、どのような関わり方や介護を心掛ければよいのだろうか、考えよう。	
導入Ⅱ 10分	2 映画「ケアニン2～ここに咲く花～」の鑑賞後の感想をグループ内で伝えあう。 印象に残ったシーン・介護福祉士の魅力など	●グループでのアイスブレイクとして、自己紹介とともに簡潔に映画の感想を述べあう。 (生徒6～7名+介護の魅力隊伝え隊1名) (6班)
展開Ⅰ 説明 10分 ワーク 30分 発表 20分 (調整 5分)	3 事例を通じて、認知症高齢者の思いを汲みとったよりよい介護についてグループ内で検討する。 何度も排泄介助が必要な花子さんの事例 帰宅願望がある太郎さんの事例 他者の意見やファシリテーターの助言を取り入れ、よりよい支援方法をグループでまとめて提案する。 4 事例を通じて、認知症高齢者の思いを汲みとったよりよい介護についてグループごとに発表を行う。 各班3分程度の発表を行う。(3分×6班) 発表を通じて、クラス内で学びを共有する。	●事例を取り組む前に、各班でファシリテーターに対して、認知症について学校で学習した内容を伝える。 ●何度もトイレに行きたいと訴える花子さん(ニックネーム ぼんちゃん)の気持ちを考えさせる。介護福祉士が推測できる具体的な対応方法について検討し、ホワイトボードシートを使って表現させる。(3班) ●帰宅願望がある太郎さん(ニックネーム 杉じい)の自宅に帰りたい気持ちを考えさせる。グループ内で利用者役と介護者役に分かれて、声掛けの方法をロールプレイングで表現させる。(3班) ★【評価基準 思①】 認知症高齢者の排泄介助や帰宅願望の事例から課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとったよりよい介護について、考察することができる。 ・ワークシート ・発表 ・相互評価 ★【評価基準 態①】 進んで、認知症高齢者の思いを汲みとったよりよい介護について主体的に取り組もうとしている。 ・自己評価
展開Ⅱ 10分	5 認知症高齢者の気持ちを再認識する。 ファシリテーターより、生徒に対して事前に連絡していた必要な持ち物について問いかける。 生徒は持ち物については、知らされていない。	●必要な持ち物があつたことを今、聞いた生徒の表情や様子をよく観察する。 生徒2名にその時の気持ちを発表させ、この気持ちが認知症高齢者の気持ちであることを気づかせる。
展開Ⅲ 15分	6 『利用者が望む暮らし』を実現していくために、介護現場だからできることを理解する。 大福が大好きなポンちゃんの事例 介護福祉士の役割 ・多職種連携	●ファシリテーターより、介護現場における多職種連携を行った好事例を説明してもらう。 ★【評価基準 知①】 介護福祉士の役割や多職種連携について理解している。 ・定期考査
まとめ 5分	7 本時のまとめ、振り返りを行う。 ①本日のまとめ・感想 ②家庭学習について 【まとめ】介護福祉士の仕事とは、利用者の気持ちを想像し、生活課題に対して試行錯誤し、一人ひとりに応じた生活を創造することをクラス全体で再確認する。	●本時の学びの成果や課題の解決方法を共有する。 ・【評価基準 態②】 家庭学習として、本日の学びについてワークシートに記入し、自らの学びを振り返る。・ワークシート

ケアニンと考える利用者の方にとってよりよい介護とは ワークシート

年 組 番 名前()

I 本日のテーマ

認知症高齢者の気持ちに寄り添った介護とは、どのような関わり方や介護を心掛ければよいのだろうか、介護現場で働く介護福祉士の方と一緒に考えよう。

II 映画「ケアニン～ここに咲く花～」について、グループ内で感想を述べ合ひましょう。

()班

ケアニン	さん	さん	さん	さん
	さん	さん	さん	さん

III 次の事例を通じて、認知症高齢者の思いを汲みとったよりよい介護についてグループ内で検討しましょう。

【事例1】

大阪花子さん(70歳 女性 要介護3 ニックネーム ぽんちゃん)は、3か月前から高齢者施設で生活している。認知症があり、物忘れや机の上に落ちているゴミを虫だと言って払い落とす様子がみられる。最近では筋力低下が進行し、精神的に不安定になることも多い。歩行は何とかできるが、はじめの一步を踏み出すのに時間がかかる状態である。

★トイレ誘導を行った10分後の花子さんに対する新人介護福祉士の関わり方である。

問1 花さんは、なぜ何度もトイレに行きたいのか？ 花さんの気持ちを考えましょう。

問2 花さんに対する具体的な対応方法を考えましょう。

【事例2】

杉谷太郎さん(75歳 男性 要介護2 ニックネーム 杉じい)は、昨年、アルツハイマー型認知症と診断された。妻のミチ子さん(70歳)と一緒に暮らし、在宅介護サービスを利用して自宅で生活をしてきた。しかし、ミチ子さんが肺炎で病院に入院したことで、長女のアキ子さん(45歳)が太郎さんを担当している介護支援専門員と相談して、介護老人保健施設に短期入所することになった。

★入所1週間経過しても、毎日夕方16時ごろに訴える太郎さんに対する新人介護福祉士の関わり方である。

問1 太郎さんは、なぜ帰りたいのか？ 太郎さんの気持ちを考えましょう。

問2 太郎さんの気持ちに寄り添ったよりよい関わり方について考えましょう。

IV 各班の発表について、評価しましょう。

	①話し方	②内容	③発表の工夫	④一言コメント 良かったところを書きましょう。
1班	A B C	A B C	A B C	
2班	A B C	A B C	A B C	
3班	A B C	A B C	A B C	
4班	A B C	A B C	A B C	
5班	A B C	A B C	A B C	
6班	A B C	A B C	A B C	

【グループ発表 評価のポイント】

評価のポイント	A	B	C
① 話し方 【表現力】	声の大きさ・話すスピードが適切で、相手の理解度を確認しながら話をしている。	声の大きさ・話すスピードは適切ではあるが、発表原稿ばかり見ている。	声が小さい、または話すスピードも適切ではなく、聞き取りにくい。
② 内容 【思考力】	事例から課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとり、なるほどと納得できる関わり・対応方法を具体的に説明している。	事例から課題を発見し、認知症高齢者の思いを汲みとった関わり・対応方法を説明している。	事例から課題を発見できず、認知症高齢者の思いが汲みとれていない。
③ 発表の工夫 【表現力】	ロールプレイまたは資料について、要点が明確であり、わかりやすく伝える工夫がされている。	ロールプレイまたは資料を使って、伝えている。	ロールプレイまたは資料について、まとまっていない。

【家庭学習】 本日の学びを振り返りましょう。

※明日のSHRにて提出

Ⅴ 事例検討での自らのグループ活動の貢献度を評価しましょう。【主体性】

評価のポイント	A	B	C	D
①話し合いへの参加 ★評価の記入↓ <input type="text"/>	メンバーの発言に関連した発言や質問するなど話し合いを促進することができた。	自分の意見を伝えたり、他のメンバーの話に理解を示したりすることができた。	自分の意見を一部分しか伝えることができず、メンバーの発言を聞いてばかりいた。	自分の意見は伝えず、メンバーの発言を聞いていない時もあった。
②グループへの貢献度 ★評価の記入↓ <input type="text"/>	自分の役割は責任を持って行い、他にも自分からできることを探して取り組んだ。	自分の役割は責任を持って取り組んだ。	自分の役割について、取り組まない時があった。	自分の役割がわからず、取り組まなかった。

Ⅵ 本日の授業を通じて、新たに気づいたことや学んだこと、大切なことを書きましょう。

① 事例1での学びを振り返りましょう。

【主体性 A B C】

② 事例2での学びを振り返りましょう。

【主体性 A B C】

ホワイトボードシート 1枚目

問1 利用者の方の気持ちを考えましょう。

事例1の場合 花子さんは、なぜ何度もトイレに行きたいのか？ 花子さんの気持ちを考えましょう。

事例2の場合 太郎さんは、なぜ帰りたいのか？ 太郎さんの気持ちを考えましょう。

事例1 問1 花子さんの気持ち	班
事例2 問1 太郎さんの気持ち	

ホワイトボードシート 2枚目

問2 介護に関する専門職である介護福祉士としての対応や関わり方を考えましょう。

事例1の場合 花子さんに対する具体的な対応方法を考えましょう。

事例2の場合 太郎さんの気持ちに寄り添ったよりよい関わり方について考えましょう。

事例1 問2 花子さんの対応方法	班
事例2 問2 太郎さんへの関わり方	

ロールプレイング組み立て用紙 ()班

太郎さん(ニックネーム 杉じい)

新人介護福祉士 「太郎さんどうしましたか？」

太郎さん 「家に帰ります。」

新人介護福祉士 「太郎さん太郎さんは今日もここに泊まることになっていますよ」

「奥様の入院中はここに泊まると娘さんから聞いてこられたでしょう！」

「だから、帰ることはできません！」

太郎さん 「そんなこと誰がきめたんじゃ」

新人介護福祉士 「家に帰っても奥様はいませんよ」

よりよい関わり方についてロールプレイングを考えましょう

新人介護福祉士 「太郎さんどうしましたか？」

太郎さん 「家に帰ります。」

新人介護福祉士

太郎さん

新人介護福祉士

太郎さん

新人介護福祉士